

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 5年 3月 30日

事業所名 ほっとバンビーニ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		状況によりパーテーションを活用しています	
	②	職員の配置数は適切である	4	4	加配職員配置済み	法令を遵守している。配置要件は満たしているが、欠員がでると厳しい時がある。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		日々のMTGで情報伝達を行っている 絵カードやパーテーションを用いて視覚的訴求を行っている	環境整備に関して改善の余地あり
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	1	MTGで常に振り返りを行っている	及第点には及ばない(全職員の共通認識化が必要)
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		評価表のご意見を基に話し合い、改善に向けて動いている	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	活動内容の動画配信	行っている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	5		第三者評価は行っていません
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		事業所内にて研修を行っている。外部研修にも参加している	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		児発管が行い職員全員で会議にて共有している	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	3	アセスメントの再確認	行っていない、今後ツール等を検討する。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		自立課題アイテムの提供、絵カードを使った視覚支援。外出支援等。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8				
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		MTGにて定期的に話し合っている。ご利用者様が楽しんで活動に参加している。	改善の余地有り	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	8				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		支援前にMTGを行い、デイリースケジュールを確認している。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3	翌日にMTGを行い前日の振り返りをしている。共有ノート活用の活性化	翌日に行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		日々のMTG時に共有ノートに記入、その他のMTG時に改善点等話し合っている。		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		モニタリング会議にて話し合っている		
	関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		会議によっては複数の職員が出席している	
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		関係機関主催会議へ参加している 電話連絡している	
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	6		利用なし	
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	6		利用なし	
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			移行支援加算ケースなし	
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1		移行支援加算ケースなし。必要時に行う。	
㉗		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	発達センターの研修に出席している	行っている。	
㉘		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		8		コロナ渦において交流の機会を持てなかった。今後感染状況を踏まえ実施を検討。ゴミ拾い等ボランティア活動の実施。	

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	7	市川市通所事業所連絡会に参加した	参加しているが職員が認識していないので周知する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	1	所内相談及び家庭連携加算の範疇で行っている	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		送迎時に悩みをお話されたりした場合、電話をしてお話をしたり場合によっては面談等も行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7		コロナ渦の為、交流の機会を持てなかった。今後感染状況を踏まえ実施予定。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		HPブログ・公式LINEアカウントを活用して発信している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7		コロナ渦で難しかった。今後感染状況を踏まえ実施検討。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		運営規定に定められた研修を行っている ※保護者様への周知はできていない
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		定期的に訓練を行っている ※保護者様への周知はできていない	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8			
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			現在該当者なし

対応	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		研修等行っている	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。